

かめおかつ子 “イングリッシュスキル醸成”プロジェクト

～英語でひろがる未来の可能性～

(目的)

社会の急速なグローバル化の進展の中で、**英語力を高めることは、異文化理解や異文化コミュニケーションの上でもますます重要になります。**その際に、国際共通語である英語力の向上が児童生徒の将来的な可能性、また、**未来を確立するための選択肢の広がりのために欠かせないもの**となります。

そこで学校教育の場面で授業など教育活動全般において、**外国語を用いたコミュニケーションを行う機会を増やすことが大切である**と考え、**ALT(外国語指導助手)の常駐校はじめ、配置を充実**することにより、英語と触れ合える環境の充実に回り、**英語の有用性を実感する機会を提供**します。

亀岡市教育委員会

(学校教育課)

2

～本市の英語(国際理解)教育の現状～

【教育委員会部局】

- ALT(外国語指導助手)配置
…ネイティブの指導助手を4名任用し、全校にシフト制により指導
(平均1クラスあたり年間約17時間)
- 実用英語技能検定チャレンジ事業
…市立中学校に在籍する全生徒の英検受験料を年1回分支援

【市長部局】

- スタディアブロードプログラムの実施(派遣)
…市立中学校に在籍生徒を海外へ派遣し、現地での国際理解教育の機会を創出
R5:アメリカ(スティルウォーター市)
R6:オーストリア(クニッテルフェルト市)
R7:台湾(宜蘭県)
- スタディアブロードプログラムの実施(受入)
…市立中学校に海外の生徒を受入、市内中学校において国際交流、国際理解教育の機会を創出
R6・7:アメリカ(スティルウォーター市)

更なる充実にチャレンジ

3

～充実内容～

(内容)

ALT(外国語指導助手)の配置増

⇒ 児童生徒の英語力、国際理解力向上 につなげる！

※海外都市との教育機関連携協定を視野に指導助手を任用（フィリピン想定）

フィリピン想定理由

- ・他自治体での実例あり
- ・フィリピンは英語を使用する人が多い(人口比率92.6%)
- ・人材確保のシステムが確立している

(具体計画)

【目標】:ALT全校への常駐配置

・現状4名任用の英語を母語とする指導助手と併用

- R7 研究フェーズ
(視察(国内外)・協定準備など)
- R8 パイロット的实施フェーズ
(義務教育学校2校の3ステージに各1人(6人)配置)
(中学校5校各1人(5人)配置)
- R9以降 拡充検討フェーズ
(検証を常に実施し、順次更なる充実を検討)

4

～実施におけるロードマップ～

【R7】

- 10月 議会説明
- 11月 受入諸準備 (受入体制確立・予算編成・学校での教育課程編成など)
- 12月 市議会上程 (債務負担行為)
自治体間教育推進における協定締結 (セブ州 ラブラブ市)
- 1月 ALT任用サポート業務委託業者選定 プロポーザル実施
- 2月 ALT任用サポート業務委託契約締結 → ALT任用準備

【R8】

- 4月 ALT任用 (学校配置) 11人増員 + 既存ALT4人との併用
(2義務教育学校各3人常駐 + 中学校5校に各1名常駐)
- ※検証実施
- 9月 R9以降の展開検証・検討